安全データシート(SDS)

1．製品および会社情報

会 社 名	：	昭石化工株式会社
住　　所	：	東京都港区台場 2−3−2（担当部門：営業部）
電話番号	：	03−5531−7063（Fax 03−5531−6811）

製品名　　ハイネスシール

2．危険有害性の要約

GHS 分類

引火性液体		：	区分３
急性毒性	経口	：	区分外
	経皮	：	区分外
	吸入（蒸気）	：	区分４
	（粉塵・ミスト）	：	分類できない
皮膚腐食性/皮膚刺激		：	区分２
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		：	区分２Ｂ
呼吸器感作性		：	分類できない
皮膚感作性		：	分類できない
生殖細胞変異原性		：	分類できない
発がん性		：	区分２
生殖毒性		：	区分１Ｂ
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		：	区分３(気道刺激性, 麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		：	区分２(中枢神経系, 肺)
吸引性呼吸器有害性		：	区分１
水生環境有害性（急性）		：	区分３
水生環境有害性（慢性）		：	区分外

ＧＨＳラベル要素

絵文字またはシンボル　：

注意喚起語　：　危険

危険有害情報　有害性　：引火性液体および蒸気、吸入すると有害、皮膚刺激、眼刺激。
発がんのおそれの疑い、生殖能または胎児への悪影響のおそれ。
呼吸器への刺激のおそれ、眠気またはめまいのおそれ。
長期にわたる、または反復暴露により臓器(中枢神経系, 肺)の障害のおそれ。
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

環境影響　：水生生物に有害

化学物質等の分類（日本方式）	：	引火性液体類。
危険性(物理的・化学的)	：	引火性液体類。
	：	
特定の危険有害性	：	蒸気は空気より重く低いところに滞留し、空気とよく混合し爆発性ガスを生成しやすい。流動、攪拌などにより静電気が発生することがある。

注意書き

安全対策 ： ・使用前に取扱説明書を入手すること。
・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
・容器を密閉しておくこと。
・熱／火花／裸火／高温のような着火源から遠ざけること。禁煙。
・容器及び受器を接地すること。
・防爆型の電気機器、換気装置、証明機器、その他機器を使用すること。
・粉塵／ガス／蒸気の吸入をさけること。
・環境への放出を避けること。
・必要な個人用保護具を使用すること。
・使用後はよく手を洗うこと。

救急処置 ： ・火災の場合には、消火に粉末、二酸化炭素、泡消火器を使用すること。
・飲み込んだ場合は、水で口の中を洗い、直ちに医師の診断を受ける。可能ならば吐き出させる。
・皮膚または髪に付着した場合は、直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと／取り除くこと。
・多量の水と石けんで洗うこと。
・吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
・気分が悪いときは、医師に連絡すること。
・皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。
・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当を受けること。
・暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断／手当を受けること。

保管 ： 容器を密閉し、直射日光, 雨水を避け, 火気、熱源のない風通し・換気の良い場所で施錠して保管すること。

廃棄 ： 内容物や容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3．組成，成分情報

単一製品・混合物の区分 ： 混合物

化学名（一般名／別名） ： 改質アスファルト系シーリング材

成分及び含有量 ：

成分名		含有量(%)	化学式	CAS No.	官報公示整理番号	PRTR 法
石油ｱｽﾌｧﾙﾄ		26	特定できない	64742-93-4	化審法 9-1719/安衛法 12-189	非該当
ﾐﾈﾗﾙｽﾋﾟﾘｯﾄ;18%	ﾉﾅﾝ	10	C9H20	111-84-2	化審法 2-9/安衛法 9-932	非該当
CASNo.;8052-41-3	1.2.4-ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	5.4	C9H12	95-63-6	化審法 3-7/安衛法 9-404	1-296
化審法; —	1.3.5 ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	1.6	C9H12	108-67-8	化審法 3-7/安衛法 9-404	1-297
安衛法; 9-551	ｷｼﾚﾝ	0.7	C8H10	1330-20-7	化審法 3-3/安衛法 9-136	1-80
PRTR 法;非該当	ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	0.3	C8H10	100-41-4	化審法 3-28/安衛法 9-70	1-53

※石油ｱｽﾌｧﾙﾄ：労働安全衛生法 第57条の2 通知対象物 第168号 鉱油

4．応急処置

目に入った場合 ： 直ちに多量の流水で15分以上洗い流す。洗眼の際、眼球とまぶたの隅々まで洗浄し、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼刺激が持続する場合は、速やかに医師の診察、手当を受ける。

皮膚に付着した場合 ： 汚染された衣服を脱がせ、大量の水及び石けん又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い流す。
溶剤、シンナーは使用しないこと。かゆみ、炎症等の異常があれば直ちに医師の診断を受ける。

吸入した場合 ： 蒸気、ガス等を吸い込んで、気分が悪くなった場合、空気の新鮮な場所で安静にし、呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 ： 水で口の中を洗い、安静にして医師の診断を受ける。可能ならば吐き出させる。

５．火災時の措置

消火剤	：	粉末消火器、二酸化炭素消火器、泡消火器、防火砂。棒状水は使ってはならない。
特定の消火方法	：	消火は泡、粉末、二酸化炭素消化剤等で一挙に消火する。少量の場合は、噴霧注入で消火できる。注水は延焼防止、または容器の冷却とする。付近の着火源を断ち、保護具を着用して風上から消火する。
消火を行う者の保護	：	保護衣を着用する他、状況に応じ防火用手袋、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。
火災周辺の措置	：	付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。火災周辺は、関係者以外立入り禁止とする。

６．漏出時の措置

	：	通常の取扱い範囲では漏出しない。
人体に対する注意事項	：	作業の際には適切な保護具(ｺﾞﾑ又はﾌﾟﾗｽﾁｯｸ手袋、呼吸器用保護具、ｴﾌﾟﾛﾝ、ｺﾞｰｸﾞﾙ等) を着用する。
環境に対する注意事項	：	河川等へ排出され、環境へ影響を起こすことがないように注意する。
除去方法	：	乾燥砂、水、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量流出の際には、盛り土で囲って流出を防止する。流出物はスコップなどで密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
二次災害の防止	：	付近の着火源となるものを速やかに除くと共に消火剤を準備する。付着物・廃棄物などは、関係法規に基づいて処理をすること。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	：	火気、火花、高温物の使用を禁止。換気の良い場所で取扱い、容器はその都度密栓する。機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。
取扱者の暴露防止	：	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面等の保護具を着用する。取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行う。
安全取扱注意事項	：	皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。高温暴露、水濡れを避ける。使用済みｳｪｽ、防水材かす等は廃棄するまで水に浸けておく。

保管

技術的対策 (保管条件)	：	直射日光、雨水を避け、火気、熱源のない、高温(50℃以上)、低温(-20℃以下)の場所を避けて屋内等で保管する。

８．暴露防止及び保護措置

設備対策	：	屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、室内等、蒸気がこもる場所の作業には防爆タイプの局所排気装置の設置を行う。取扱い場所の近くに洗眼、洗顔および身体洗浄のための設備を設ける。

管理濃度 ：ｷｼﾚﾝ 50ppm, ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ 20ppm

許容濃度 ：

	日本産業衛生学会	ACGIH
ｷｼﾚﾝ	50ppm(217mg/m^3)	TLV-TWA 100ppm(434mg/m^3)
		TLV-STEL 150ppm(651mg/m^3)
ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	50ppm(217mg/m3)	TLV-TWA 100ppm
		TLV-STEL 125ppm
ﾉﾅﾝ	200ppm(1050mg/m3)	TLV-TWA 200ppm
ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	25ppm(120mg/m3)	TWA 25ppm(異性体混合物として)

適切な保護具

呼吸器系の保護	：	状況に応じて有機ガス用防毒マスクを着用する。
手の保護具	：	耐油性(非浸透性)ゴム製保護手袋を着用する。
目の保護	：	状況に応じて側板付普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡を着用する。
皮膚/身体の保護具	：	長袖作業衣、必要に応じて静電気防止保護服及び保護長靴を着用する。

９．物理的及び化学的性質

物理的状態　形状	：	ペースト状液体
色	：	黒
臭い	：	溶剤臭あり
pH	：	情報なし
融点・凝固点	：	データなし
沸点,初留点/沸騰範囲	：	データなし
引火点	：	40.0℃(製品;ﾀｸﾞ密閉式)
自然発火点	：	470℃
爆発特性	：	0.6～6.0 vol%　(推定値)
蒸気圧	：	データなし
蒸気密度	：	データなし
密度(g/cm^3)	：	1.35-1.50
溶媒に対する溶解性	：	有機溶剤に可溶、水に不溶。

１０．安定性及び反応性

化学的安定性	：	常温で安定である。
反応性	：	単独では全く反応しない。
避けるべき条件	：	ﾊﾛｹﾞﾝ類,強酸類,ｱﾙｶﾘ類,酸化性物との接触を避ける。
混触危険物質	：	酸化性物質と接触すると発火・爆発等の異常反応を起こす恐れがある。
危険有害な分解生成物	：	有用な情報なし。

１１．有害性情報

引火性液体	：製品引火点；40.0℃、混合物として【区分３】に分類。
急性毒性	：(経口) 石油ｱｽﾌｧﾙﾄ;ﾗｯﾄ LD50　5000mg/kg以上、1.2.4-ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ;LD50ﾗｯﾄ(雌)5000mg/kg(区分外)， ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ；LD50 3500mg/kg(区分外)，ｷｼﾚﾝ；LD50 3500mg/kg(区分外) 混合物として【区分外】に分類。 (経皮) ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ；LD50 ｳｻｷﾞ 15400mg/kg(区分外)、混合物として【区分外】に分類。 (吸入;蒸気) ﾉﾅﾝ；LC50(4hrs)ﾗｯﾄ 16.75mg/L(区分4)、混合物として【区分４】に分類。 (吸入;粉じん・ﾐｽﾄ)有用なデータなし、混合物として【分類できない】とした。
皮膚腐食性/皮膚刺激	：1.3.5-ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ;区分2,ﾉﾅﾝ；区分2、混合物として【区分２】に分類。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	：石油ｱｽﾌｧﾙﾄ;ﾄﾞﾚｲｽﾞﾃｽﾄの結果、軽度の刺激性あり・区分2B,1.3.5-ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ;区分2B, ﾉﾅﾝ；区分2A-2B、混合物として【区分２Ｂ】に分類。
感作性	：(皮膚) データなし。混合物として【分類できない】とした。 (呼吸器) データなし。混合物として【分類できない】とした。
生殖細胞変異原性	：ﾃﾞｰﾀが不十分であり、混合物として【分類できない】とした。
発がん性	：石油ｱｽﾌｧﾙﾄ、IARC(国際がん研究機関)は「IARC ｸﾞﾙｰﾌﾟ 3(ﾋﾄに対して発がん性について分類できない物質)」に分類している。EC理事会指令67/548EEC 付属書Ⅰ「危険な物質」に該当しない。 ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ；区分2、混合物として【区分２】に分類。
生殖毒性	：ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ；区分1B，ｷｼﾚﾝ；区分1B、混合物として【区分１Ｂ】に分類。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	：1.2.4-ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ；区分3(気道刺激性,麻酔作用),1.3.5-ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ；区分3(麻酔作用) ﾉﾅﾝ；区分3(気道刺激性,麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	：1.2.4-ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ；区分2(中枢神経系,肺)
吸引性呼吸器有害性	：1.2.4-ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ;区分1，1.3.5-ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ;区分1，ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ；区分1，ｷｼﾚﾝ；区分2 ﾉﾅﾝ；区分1、混合物として【区分１】に分類。

１２．環境影響情報

生体毒性　：　水性環境有害性；

1.2.4-ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝEC50(48hrs) 甲殻類(ｵｵﾐｼﾞﾝｺ) 6.14mg/L；区分２

1.3.5-ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝLC50(48hrs) 甲殻類(ｵｵﾐｼﾞﾝｺ) 6000μg/L；区分２

・水性環境急性有害性；混合物として【区分３】に分類。

・水性環境慢性有害性；生分解性、蓄積性のデータより、混合物として【区分外】に分類。

残留性、分解性　：　1.2.4-ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ；急速分解性がない(28 日分解度・4-18%)

1.3.5-ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ；急速分解性がない(BOD による分解度・0%)

生体蓄積性　：　1.3.5-ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ；生物蓄積性が低い(BCF=342)

土壌中の移動性　：　データなし。

他の有害影響　：　漏洩、廃棄の際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。特に製品や洗浄水が地面、川、排水溝に直接流れないように対処すること。

１３．廃棄上の注意

以下の情報を参考に分類の上、許可を受けた専門業者に処理を委託する。詳細は法律（廃掃法及び容器包装リサイクル法）に従う。

容器・包装の廃棄　：　空容器類を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に産業廃棄物として処理または回収する。

（　）に管理型・安定型の区分を示す。

外箱、紙管など紙製容器・包装：回収または紙くずとして処理。(単体で管理型産業廃棄物、付着成分がある場合も管理型産業廃棄物)

金属缶、金属ドラム、金属チューブ類：金属くずとして処理。(単独で安定型産業廃棄物、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う。)

プラスチック製のボトル、チューブ、袋など：廃プラスチックとして処理（単独で安定型産廃、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う。）

１４．輸送上の注意

輸送の特定の安全対策及び条件　：　取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

転倒、落下、損傷、漏れの無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。

陸上　：　消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

消防法；危険物第４類第２石油類(非水溶性)

危険物の規制に関する規則(別表第３の２)；容器は金属製容器（１８L）

(注)容器は危険物の規制に関する技術上の基準の細目を定める告示第 68 条の５に定める容器試験基準に適合していることを自主確認すること。

容器表示；危険物第４類第２石油類(非水溶性)・危険等級Ⅲ・火気厳禁

積載方法；運搬時の積み重ね高さは3m以下

海上　：　船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空　：　航空法に定めるところに従うこと。

国連分類・番号　：　非該当

１５．適用法令

法規制 : 化学物質管理促進法（PRTR 法）及び労働安全衛生法 57 条の 2 第 1 項 通知対象物の該否については 3. 組成、成分情報内に示す。

労働安全衛生法・特化則；第 2 類物質　特別有機溶剤等　　非該当
労働安全衛生法・有機則；第 2 種有機溶剤　　非該当
(労働安全衛生法・有機則；ﾐﾈﾗﾙｽﾋﾟﾘｯﾄとして、第 3 種有機溶剤に該当)
消防法；危険物第４類第２石油類　非水溶性液体　(1000L)
危険物船舶運送及び貯蔵規則；　危告示　引火性液体類
海防法施行令有害液体物質;ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ(X 類),ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ・ｷｼﾚﾝ(Y 類)
港則法；危険物　引火性液体類
航空法；引火性液体
毒物及び劇物取締法；非該当
悪臭防止法；ｷｼﾚﾝ

１６．その他の情報

引用、参考文献 : JIS Z 7252(2014)　GHS に基づく化学物質等の分類方法
独立行政法人　製品評価技術基盤機構(NITE)ホームページ　GHS 分類結果データベース
国連 GHS 文書 (2013)
原材料メーカーの MSDS
国際化学物質安全カード(ICSC)
製品安全データシートの作成指針（改訂版）日本規格協会(平成 13 年 10 月)
危険物船舶運送及び貯蔵規則　12 訂版　海文堂

含有量表示基準 : PRTR 指定物質及び劇毒物は有効数字 2 桁。労安通知物質その他は 5%刻みの未満表示（10%未満の場合は 1%刻み）で表す。

・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。なお、新しい知見により改訂されることがあります。
・危険、有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。
・注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。また、本製品を本来の用途以外に使用しないでください。